

sipty

人工的にセレンディピティーを実現させるChat Botのマッチングサービス

Problem

- SNS上のフレンド間の希薄化
- ソーシャルネットワークで繋がっているのに人を誘う必要がある
- 人の考えをうかがう必要がある
- セレンディピティーの体験がほぼない

Solution

- FacebookのフレンドをBOTが強制的に1日数人マッチング
- ユーザーがYES / NO を選択
- お互いがYESならMessengerでチャットが開始
- 毎日人工的にBOTがセレンディピティーを実現する

Market Size

- Pairsのユーザー数 → 500万人
- yentaのユーザー数 → 1万人（ビジネスレイヤー）
- yentaの承認待ちユーザー数 → 約1万人

Traction ?

デジマラボの人が凄く熱狂した。

Unique Insight

マッチングは基本的にはSNS上の友人はでてこない。ただSNS上の友人はすでに数百人単位で存在していて、それが希薄化している。男女間と言うまでもないが、ビジネスパーソンで過去にやりとりした人、いつもいいねしてる人など、会いたいけどDMするまでもないユーザーは必ず存在する。SNSがある以上そういう人は消えない。それをBOTが強制的にマッチングすることで誘う行為も、相手をうかがう行為もなくセレンディピティーが実現する。ユーザーは偶然を必然にするのが不可能だからニーズを露わにしないが、実はそういったSNSフレンド間のマッチング欲求(異性の観点、ビジネスの観点)は存在する。

Business Model - How to make money

- ユーザー課金

マッチングのユーザーの情報(名前、写真)を隠す
→知るために課金

- お互いの位置(勤務先の駅とか)情報を取得して、中間地点のレストランをチャット上でレコメンド
→ 広告枠